

教育目標 ねらい	地域のイベント等を通して地域社会や文化とのつながりを体験的に学ぶ。社会貢献の意義と目的とを学ばせるとともに、福祉施設や地域におけるボランティア活動などを通じてその重要性を認識させる。
授業の概要	地域イベント等の準備や後片づけ、参加者等への説明などの経験を通じ、座学では得られない社会とのコミュニケーション力を学ぶ。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い試験を受けてもらいます。
資格対応	特になし。
関連科目	特になし。
テキスト 及び 参考文献	特になし。

成績評価基準

到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

なし。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（接客マナー）						
対象科	トータル科	学年	1年	必選	選択	単位数	2（60時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	山口 孝[無]						

授業計画		
回	項目	内容
1～3	言語知識（文字・語彙）	現状の確認を行う。
4～6	漢字読み	漢字で書かれた語の読み方。
7～9	表記	ひらがなで書かれた語が、漢字でどのように書かれるか。
10～12	文脈規定	文脈によって意味的に規定される語が何であるか。
13～15	言い換え類義	出題される語や表現と意味的に近い語や表現。
16～18	用法	言語が文の中でどのように使われるのか。
19～21	言語知識・読解（文法・読解）	現状の確認を行う。
22～24	文法（文法形式の判断）	文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができるか。
25～27	文法（文の組み立て）	統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる。
28～30	文章の文法	文章の流れに合った文かどうかを判断することができる。
31～33	内容理解（短文）	生活・仕事などいろいろな話題も含め、説明文や指示文など、150～200字程度の書き下ろしのテキストを読んで内容理解。
34～36	内容理解（中文）	書き下ろした解説、エッセイなど350字程度のテキストを読んで、キーワードや因果関係を理解。
37～39	内容理解（長文）	解説、エッセイ、手紙など550字程度のテキストを読んで、概要や論理の展開を理解する。
40～42	情報検索	広告、パンフレットなどの書き下ろした情報素材の中から必要な情報を探し出してみる。
43～45	聴解	現状の確認を行う。
46～48	課題理解	具体的な課題解決に必要な情報を聞き取ることができるようにする。
49～51	ポイント理解	〃
52～54	概要理解	話者の意図や主張などができるかどうかの確認をする。
55～57	発話表現	イラストを見ながら、状況説明を聞いて、適切な発話ができるようにする。

58～60	即時応答	質問などの短い発話を聞いて、適切な応答の確認。
-------	------	-------------------------

教育目標 ねらい	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、社会人としての心構えを養う。
授業の概要	教室において講義形式にて授業を進める。教科書全般だけではなく問題集などから理解度を深める。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。小テストをおこないます。
資格対応	日本語能力試験
関連科目	相互理解
テキスト 及び 参考文献	日本国際教育支援協会テキスト

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験
の有無について

理容師免許を有し理容所において勤務

教育目標 ねらい (到達目標)	1年間かけて髪をデザインすることを学ぶ。技術の習得・似合わせ・道具の使い方・事故防止・などヘアメイクを通じて酔うようなことを学習する。
授業の概要 (授業期間全体を通じた授業の進め方)	髪を「まとめる」ことから「デザインする」ところまでを1年間で体感する。その際「洗う」「乾かす」ことを覚えることによって繰り返し練習可能となる。
評価方法	学期末定期試験で、ウィッグを使った作品を1人1体作成する。課題内容・審査基準・計測時間・は事前に通知し、全員同基準で審査をする。
受講心得 (準備学習の具体的な内容)	設備や道具・器具の使い方や注意点を理解しておく。また、人体の構造、特に髪の構造を理解する。
資格対応	無し
関連科目	ブライダルヘアメイク
テキスト 及び 参考文献	技術理論1

成績評価基準

到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度	○	○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度	○		○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度	○	○	○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力	○		○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験の有無について	美容室での実務経験が20年以上の教員が担当します。
------------------	---------------------------

教育目標 ねらい (到達目標)	実技と理論の両輪を学ぶことによって理解を深めることが狙い。
授業の概要 (授業期間全体を通じた授業の進め方)	教科書「技術理論1・2」を使い、又は展示作品などを見せながら理解を深めてもらう。
評価方法	学期末定期試験で、ペーパーテストをし、理解度を確認する。
受講心得 (準備学習の具体的な内容)	予習、復習を重ねて理解度を増していただく。
資格対応	無し。
関連科目	ヘア、メイク、ネイル、ブライダル、エステティック、着付などの実技科目。
テキスト 及び 参考文献	公益社団法人日本理容美容教育センター発行の「美容技術理論1及び2」。 内閣府非営利活動法人日本アーティストユニオン発行「プロフェッショナルメイクアップアーティスト公式テキスト」使用。

成績評価基準

到達目標の各観点と成績評価方法の関 係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度			○
【知識・理解】 ※教科の理解度	○		○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力	○		○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験 の有無について	美容室での実務経験が20年以上の教員が担当します。
----------------------	---------------------------

教育目標 ねらい	ネイルの基礎的な技術を習得。イベントなどでニーズに応えられる技術を提供できるようになる。
授業の概要	ネイル基礎からセルフネイル、アートなどの技術を習得できる授業を行う。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	美容技術理論
テキスト 及び 参考文献	公益社団法人日本理容美容教育センター発行 ワークブック、外国語

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の 関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験
の有無について

理容師免許を有し理容所において勤務経験あり。美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（メイクアップ）						
対象科	トータル科	学年	1年	必選	選択	単位数	4（120時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	水野 詩麻ほか[有]						

授業計画		
回	項目	内容
1～6	メイク道具の使用法	メイク道具の使用法とセッティングを理解する。
7～12	スキンケアとベースメイクの作り方	デモンストレーションを見てスキンケアの手順とベースメイクの流れを理解する。
13～18	スキンケアとベースメイクの作り方	スキンケアからベースメイクまで、スムーズに仕上げることが出来る。
19～24	ハイライトとシェーディングの入れ方	ハイライトとシェーディングの効果を理解し、的確な位置に入れることが出来る。
25～30	アイブロウの描き方	眉頭、眉山、眉尻のベストな位置とバランスを理解し、モデルに似合わせたプレゼンが出来る。
31～36	チークの入れ方	チークの左右バランスを整えモデルの骨格に似合わせたプレゼンが出来る。
37～42	アイシャドウの入れ方	ブラシを使ってアイシャドウのグラデーションが出来る。
43～48	アイシャドウの入れ方	チップを使ってアイシャドウのグラデーションが出来る。
49～54	アイシャドウの入れ方	カラーのアイシャドウを使ってモデルに似合わせたプレゼンが出来る。
55～60	アイライナーの引き方	リキッドとペンシルアイライナーの使い分けができる。
61～66	アイラッシュの仕方	ビューラーの上げ方とマスカラの塗り方を理解する。
67～72	リップの塗り方	リップラインに沿ってキレイに色を塗れる。
73～78	フルメイク	フルメイクを50分で行い、モデルに似合わせたプレゼンができる。
79～84	相モデル実習	フルメイクを50分で行い、モデルに似合わせたプレゼンができる。
85～90	相モデル実習	これまでの実習を踏まえ道具セッティングからモデルに似合ったフルメイクまでを60分で出来る。
91～96	相モデル実習	〃
97～102	相モデル実習	〃
103～108	相モデル実習	〃
109～114	メイクアップの基本振り返り	メイクアップの基礎を生かしモデルのイメージに似合ったフルメイクを完成出来る。

115～120	メイクアップの基本振り返り	〃
---------	---------------	---

教育目標 ねらい	メイク道具の使い方や化粧品の種類、メイクアップの基礎を学びメイク技術の幅を広げられる授業を行う。
授業の概要	道具の使い方や、手つきがスムーズになるためには積み重ねが必要なので、普段のメイクに取り入れ、復習すること。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	着付け、ネイル、ブライダル エステ
テキスト 及び 参考文献	メイク道具一式

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（ブライダル・エステ）						
対象科	トータル科	学年	1年	必選	選択	単位数	3（90時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	水野 詩麻ほか [有]						

授業計画

回	項目	内容
1～6	男性の洋装	メンズフォーマルサイズのサイズ展開と採寸
7～12	ウエディングドレス	主なシルエット・構造・スリーブ
13～18	ウエディングドレス・小物	ドレスのサイズ展開と採寸・小物の合わせ方
19～24	ウエディングドレスのスタイリング	素材やヘッドドレスなどとのマッチングについて学習する。
25～30	新婦の和装・種類	和装・小物の名称を覚える。
31～36	新婦の和装・種類	刺繍や織りなどの名称を覚える
37～42	ドレスの扱い方	ドレスをお客さまに着せるマナーなど
43～48	ベール・パニエの扱い方・実習	ベール・パニエの扱い方や種類の習得
49～54	和装のたたみ方	和装の扱い
55～60	小物の扱い方	小物の扱い
61～66	花嫁様のアテンド方法	介添えの基礎
67～72	衣装の補正方法	新郎新婦の衣装のバランスなどを考える
73～78	衣装コーディネート	〃
79～84	衣装コーディネート	〃
85～90	参列者様の衣装の種類	留めそで・モーニングの決まりなど

教育目標 ねらい	ファンデーションやパニエの機能を理解する。ドレスの着せ方を学び、モデルにフィッティングができる。
授業の概要	コスチュームの美しいフィッティングの技術を講義と実習で学び、ファンデーションやパニエの機能を利用し、花嫁の体型に合わせたアドバイスができるまでを目標とする。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	メイクアップ
テキスト 及び 参考文献	ブライダル用具

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

教育目標 ねらい	指定時間内に着付けができるようになる。
授業の概要	着物の各部の名称と畳み方から着付技術を身につける。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	美容技術理論
テキスト 及び 参考文献	着付け用具

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関 係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（現場実習）						
対象科	トータル科	学年	1年	必選	選択	単位数	3（90時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	池山 英一ほか [有]						

授業計画

回	項目	内容
1～5	店舗研修	実習先の店舗から実際の動きについてレクチャーを受ける
6～10	店舗研修	〃
11～15	店舗研修	たな卸し業務について学ぶ
16～20	店舗研修	商品知識について学ぶ
21～25	店舗研修	現場にて実習
26～30	店舗研修	〃
31～35	店舗研修	〃
36～40	店舗研修	〃
41～45	現場実習	〃
46～50	現場実習	〃
51～55	現場実習	〃
56～60	現場実習	〃
61～65	現場実習	〃
66～70	現場実習	〃
71～75	振り返り	実習の振り返りを行う
76～80	店舗研修	実習先の店舗から実際の動きについてレクチャーを受ける
81～85	店舗研修	〃
86～90	店舗研修	たな卸し業務について学ぶ

教育目標 ねらい	実際の現場を知り、将来の目標について考えるきっかけとする。
授業の概要	実際の店舗にて実習受け入れ先の企業と共に授業を行う。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	美容技術理論
テキスト 及び 参考文献	公益社団法人日本理容美容教育センター発行の「美容技術理論1及び2」。

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の 関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。